

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月7日(日)10時00分～11時30分	会場	梅が丘市民センター	
相手方名	川西・梅が丘地域づくり委員会	参加人数	9人	
出席議員	川合滋 三原淳子 細矢一宏 幸松孝太郎 常俊朋子 柏元三			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	地域づくり組織で、同じ人が代表になるとその人の意見が強くなる。地域づくり組織代表者は住民の代表ではない。	地域づくり組織においては、それぞれの地域で住民による話し合いのもと規則等を定めていただいている。法人化を含め、透明性が高く、より住民意思が反映され得る体制を議会としても望んでいる。地域づくり組織も議会も、住民意思を行政に反映させる機関と考えている。	■当日の返答どおり	
2	公民館条例が廃止となり市民センター化され、そこに生涯学習が盛り込まれている。生涯学習推進委員会をつくっているが、教育委員会の指針が示されていない。振り返っての検証が必要だ。	公民館の市民センター化は、地域がより一層、柔軟に施設を運営できるようにするためであった。生涯学習については、それぞれの地域づくり組織において活発に行われている。市は一定の指針をもっているが、地域に伝えきれていないようなので、市にご意見を伝える。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
3	コミュニティバスの運営が立ち行かなくなっている。市は、大事な事を地域に任せ過ぎで、予算も減らされている。一括交付は止めてほしい。	コミュニティバスの運営は、地域に多大な協力をいただいている事は議会も承知しており、その補助や運営についても多くの問題がある事も認知している。国・県の関わりも深い事から、議会においても多くの議員が意見を述べている。交付や補助の仕組みも含め、改善に努めている。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
4	ライフサポートちよいすけで送迎サービスがあるが、往復で1,000円、介助者が同伴すると2,000円になる。医療費等も高くなっているので、市の援助があったらいい。	都市内交通の問題は、国・県の制度にも大きく関わり、現在の制度は非常に問題があると考えている。議会内でも多くの議員が同じような思いの発言をしており、重要案件であるので、議会として今後の課題とさせていただく。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
5	防災センターを活用したいが交通が不便である。送迎に名張市のバスを利用できないか。	防災センターの活用など一定条件における移動手段として、市の所有するバスは活用できると議会は聞いている。	■当日の返答どおり	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	市立幼稚園が廃園となり、大屋戸保育所が名張幼稚園跡に移転し、認定子ども園になると聞いた。子どもが不安などで新しい園に通えなくなったらどうなるか。子どもたちがのびのび成長できるように負担を無くしてください。	公立幼稚園・保育所の統廃合については、議会としても突然の方針報告であり、全員協議会においても議員から多くの問題点が指摘された。関係者の意見集約と、準備期間を十分に確保した形での推進でなかった事が最大の問題と考える。ご意見は行政に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
7	学校給食の食材の残留農薬が心配だ。食パンに残留の農薬がないか。ネオニコチノイド等はどうか。	食品の安全性確保については国・県で定められている。給食に使用される食材については教育委員会において確認が行われており、安全性は確保されている。しかし、新たに問題視された物質については、確認するよう市に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
8	桔梗丘高校が廃校になり名張青峰高校になったが生徒は市内からが多い。国や県と話し合い、どうやったら地域を残していけるのか話し合い、考えていかなければならない。	桔梗丘高校の廃校については議会においても部会を設置し、県議会議員との意見交換や知事への要望も行った。地域を含めた県教育委員会との話し合う機会も設け、多くの反対意見も出されたが県は廃校とした。今後も教育機関としての機能を重視しつつ、議会も注視していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり 	
9	小学校のトイレが未だに和式だ。子どもは一度も学校でトイレを使わなかった。子どもの体に悪い。	洋式トイレ化は必要と認識している。随時洋式化されるよう議会からも働きかける。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
10	生理の貧困への対応として、市役所やまちの保健室に生理用品が用意された。高校ではトイレに置いている。小中学校もトイレトーパーと同じように置くのがいい。	名張市議会は女性議員が中心となり生理の貧困に関しては、教育委員会にも要望している。ご意見については、教育委員会に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
11	<p>市立病院の経営が上手くいっていないからと民営化するというのは慎重にすべきである。名張市に病院があることの重要性を考えよ。</p>	<p>利用者や市民から頂く要望や意見は厳しいものが多く、改革の必要性がある事は事実である。市立病院は市民の税金で経営されており、できる限り効率的であるべきだ。私立の病院で地域要望に答えている病院もあり、経営形態を含めた検討が必要と考えている。</p>	<p>■当日の返答どおり ■市立病院経営改革特別委員会で対応を協議</p>	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月14日(日)19時00分～20時30分	会場	比奈知市民センター	
相手方名	ひなち地域ゆめづくり委員会	参加人数	8人	
出席議員	川合滋 三原淳子 細矢一宏 幸松孝太郎 常俊朋子 柏元三			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	生理の貧困で対応した生理用品の利用が少ないと聞いた。以前、介護用の尿パットをもらったがサイズが合わず使えなかった。生理用品にも配慮が必要だ。	名張市議会は女性議員が中心となり、生理の貧困に関しては要望をしている。ご意見については、適切な対応を求めていく。	■当日の返答どおり	
2	障がい者作業所に行っていたが、利用させてやっているような態度だった。利用を止めたが、フラッシュバックに苦しんでいる。	事業所や作業所は利用される方が選び、より良い利用場所を選択できうる環境が望ましいと考える。また、同じような事業を行っている所が複数ある事でサービスの向上も図れる。フラッシュバックの件は市に相談いただく事を望む。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
3	名張版ネウボラで、子育てしやすいまちを目指していたが、公立幼稚園が閉園になる。若い母親は働くという前提で考えられているが、人によって色々だ。	公立幼稚園・保育所の統廃合については、議会としても突然の方針報告であり、全員協議会においても議員から多くの問題点が指摘された。関係者の意見集約と、準備期間を十分に確保した形での推進でなかった事が最大の問題と考える。ご意見は行政に伝える。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
4	保育園への不審者対策でさすまた等を置いているが、園の予算で用意した。子どもの安全の観点から、市としても考えてほしい。	保育所に留まらず、教育機関においても不審者対策は重要な案件である。全国の状況は、地域性や立地条件を考慮した対策を行っており、その内容は様々である。名張市においても各学校や園・所においてマニュアル化しているが、ご意見があった事は行政に伝える。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
5	危険な通学路が2か所ある。まちづくり委員会で看板を立て、大人が見守りに立ち、旗を振ってやっと車が止まる。改善策が見当たらない。	議会としても、通学路の安全対策について協議していく。	■当日の返答どおり ■教育民生委員会で対応を協議	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	議会報告会の参加人数が少ない。地域によって課題が様々ある。地域づくり組織単位ではなく、もう少し細かに開催して相談に乗ってほしい。	名張市議会においては議会報告会の他に「いずる議会」も行っており、議会に聞いてほしい事や要望などがある場合、所管の常任委員を派遣したりもしているので、ご一報いただきたいと思う。ご意見については、今後、議会においても検討する。	■当日の返答どおり	
7	中学校の給食がまだ実施されていない。	中学校給食は実施する方向で進んでいる。しかし、耐震化、空調、タブレット配備等を先行する必要があるため、現在実施に至っていない。今後、進める予定である。	■当日の返答どおり	
8	議会とは何か。議会の立場が分からない。必要なのか。	議会は地方自治法で一般市以上の自治体に設置を義務付けられている。目的は「住民福祉の向上」であり、行政の監視及び立法機関である。名張市の条例は国会議員や県議会議員には制定できず、唯一市議会のみで制定でき、市民代表による議事機関である。	■当日の返答どおり	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月16日(火)19時30分～21時00分	会場	箕曲市民センター	
相手方名	箕曲地域づくり委員会	参加人数	14人	
出席議員	川合滋 三原淳子 細矢一宏 幸松孝太郎 常俊朋子 柏元三			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	市長、市議選挙の同時選挙はどうなったか。	令和2年9月に議会改革特別委員会から議会に報告され、ほとんどの議員は賛成の姿勢を示している。議員の任期は地方自治法で4年と定められており、同時選挙を実施するには令和4年の3月議会最終日の解散が必要である。	■当日の返答どおり	
2	議会報告会で直接議員と対話できるのはいい。議員個人の議会報告はどこで手に入るか。全議員が情報発信をすると議会が身近になる。	議員個人の市政報告は、それぞれの議員が行っている。議会としても議員個人での発信は推奨している。頂いたご意見は議員間で共有する。	■当日の返答どおり	
3	知事が代わった。市にとって良くなるか。市として知事に対して何を要求していくか。	新知事は、国土交通省のキャリア出身である。キャリアを生かして三重県の発展に寄与していただけると期待している。	■当日の返答どおり	
4	沖縄では県民が辺野古新基地建設に反対しているが、国は民意に耳を傾けない。沖縄から全国の地方自治に協力を求める要望書が届いているが、名張市議会にも来たか。	名張市議会にも届いており、各議員は認知している。陳情や要望については、その処理や進め方について法的に定められており、適正に対応した。	■当日の返答どおり	
5	原発の使用済み燃料の受け入れをしてほしいと言ってきたらどうするか。	名張市の立地条件、地殻的要因、永続的な安定性などを考慮すると受け入れの話が出てくるか疑問である。万が一出てきたとしても市民の合意は絶対条件となると考える。	■当日の返答どおり	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	太陽光発電設置条例は、どんな規制がかかるか。住民が反対したが、設置された所がある。	名張市の条例は、規模に関係なく事業者と周辺住民・関係者が十分な話し合いのもと事業を進め、維持管理や撤去についても事業者に義務を課している。本条例に反した場合、事業者の公表と県や国の関係機関への通報をうたっている。	■当日の返答どおり	
7	固定資産税の増税が延長された。若者定住を進めると言っているが、サービスは低下し財政再建団体になっているようなものである。増税した財源は何に使われているか。目的を持った使い方をしてほしい。	都市振興税は、何に使うという目的税でなく、市の歳出全般に反映されている。3年で終わられるよう議会としても努力を続ける。	■当日の返答どおり	
8	生理の貧困や性の多様性を認め合うまち・なばり宣言の取組は、国全体の動きなのか、市独自で進めているのか。	生理の貧困は国としても取り組んでいる。名張市議会は女性議員が中心となり生理の貧困に関して要望している。性の多様性を認め合うまち・なばり宣言についても、議員提案の宣言であり、名張市独自のものである。国も性的少数者の差別解消や理解を進めている。	■当日の返答どおり	
9	病院やクリーンセンターの建設時の借金を減らすために病院を民営化するのか。もしもの時に病院に行けるようにしてほしい。	利用者や市民から頂く要望や意見は厳しいものが多く、改革の必要性がある事は事実です。市立病院は市民の税金で経営されており、できる限り効率的であるべきです。私立の病院で地域要望に応えている病院もあり、経営形態を含めた検討が必要と考えている。	■当日の返答どおり ■市立病院経営改革特別委員会で対応を協議	
10	赤坂市営住宅の老朽化が著しい。隙間風が入り入居者は高齢化が進んでいる。一度見に来て、建て替えや他の市営住宅への転居などを検討してほしい。	市営住宅の建て替えは市として計画されておらず、赤坂市営住宅の老朽建物についても建て替え計画は無い。他の比較的新しい市営住宅への転居は可能だが、入居費が上がる事の上が必要である。(赤坂市営住宅については、一部建て替え時に常任委員会にて現地調査済み)	■当日の返答どおり	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
11	働く場所が無い。	市長は「住むに特化したまちを進めているが、男女共同参画や「産み育てるにやさしいまち」を進めるには居住地と働く場所が近隣にある必要がある。加えて、市内産業の発展と活性化は、市の財政面においても重要な課題と考える。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
12	通学路の安全確保をしてほしい。	市道下川原学校線等、危険箇所は把握されている。拡幅等安全対策が講じられるよう申し入れていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える ■教育民生委員会で対応を協議 	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月27日(土)13時30分～15時00分	会場	薦原市民センター	
相手方名	薦原地域づくり委員会	参加人数	19人	
出席議員	川合滋 三原淳子 細矢一宏 幸松孝太郎 常俊朋子 柏元三			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	市長、議員の同時選挙は可決するか。	令和2年9月に議会改革特別委員会から議会に報告され、ほとんどの議員は賛成の姿勢を示している。議員の任期は地方自治法で4年と定められており、同時選挙を実施するには令和4年の3月議会最終日の解散が必要である。	■ 当日の返答どおり	
2	選挙の立会人をお願いするが、受けてくれる人を探すのが困難。弁当くらい出したらどうか。	選挙時の立会人等については様々な面で地域の皆様にご負担いただいている事は議会も承知している。高齢化が進む中、ご協力いただける仕組みや補助を検討いただくよう、行政に伝える。	■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える	
3	通学路の安全確保をしてほしい。	議会としても、通学路の安全対策に注視していく。	■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える ■ 教育民生委員会で対応を協議	
4	地域まちづくり組織の法人化はどうなっているか。	条例制定時、公金を交付される地域づくり組織の法人化推進は行政から説明されており、議会も承認していた。市長ならびに行政は県や国に働きかけ、地域づくり組織に適応した法人組織の枠組みを働きかけているが実現がかなっていない。さらに進める必要がある。	■ 当日の返答どおり	
5	太陽光発電の設置条例は、罰則規定があるか。市の管轄はどこか。	名張市の条例は、規模に関係なく事業者と周辺住民・関係者が十分な話し合いのもと事業を進め、維持管理や撤去についても事業者には義務を課している。本条例に反した場合、事業者の公表と県や国の関係機関への通報をうたっている。管轄は地域環境部である。	■ 当日の返答どおり	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	固定資産税の増税が延長された。あと3年で終われるのか。 都市振興税は名張市が夕張市のようにならないために市長が防いでくれた。	都市振興税については、市民の皆様にご負担をかけている事は事実であり、議会内においても賛否が分かれた案件であった。当初から市民負担をできる限り避けるため時限立法としており、今回の延長においても同じであり、3年で終わられるよう努力を続ける。	■当日の返答どおり	
7	財政非常事態宣言は、3年後には解除になるか。	名張市財政に明るい兆しがある。宣言解除は、市長の役目である。	■当日の返答どおり	
8	指定避難所に防災倉庫があるが、鍵が学校で管理されており、いざと言う時に開けられない。避難所となる体育館の鍵と一緒に、防災倉庫の鍵も付けてまちづくり会長に持たせてほしい。	申し入れていく。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
9	緊急時の電話が配備されているが、市民センターには繋ぐ差し込みがあるが、体育館には無い。電話機があっても繋がらないので、体育館にも差し込みをつけてほしい。	申し入れていく。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
10	産業について、地域振興をどう考えるか。観光等に力を入れよ。	市長は「住むに特化したまち」を進めているが、男女共同参画や「産み育てるにやさしいまち」を進めるには居住地と働く場所が近隣にある必要がある。加えて、市内産業の発展と活性化は、市の財政面においても重要な課題と考える。議会および議員の課題と考えている。	■当日の返答どおり	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月30日(火)18時00分～19時30分	会場	錦生市民センター	
相手方名	地縁法人 錦生自治協議会	参加人数	26人	
出席議員	川合滋 三原淳子 細矢一宏 幸松孝太郎 常俊朋子 柏元三			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	市の財政が厳しく、人口も減っているのに、議員定数の削減に取り組んでほしい。	議員定数については前回の改選時2名減とした。これを決定するにあたっては市民代表2名と有識者を含め検討された。議員定数検討時は、同一規模の一般市の議員数・一般会計における議会費の割合・議員の職務内容の明確化等を検討し18名とし、同一規模の一般市と比較すると少ない数である。	■当日の返答どおり	
2	多数派の会派の議員が議長や副議長、委員会の委員長になっている。特定の会派の議員ばかりでまわしては議会の成長にならないのではないか。	議長や副議長、委員長の選出は地方自治法及び会議規則等で定められている。特に議長と副議長は議員を有権者とした選挙で選ばれる。従って普段から他の議員や会派と連携を図っている多数派から選出されるのは理にかなっていると考えられる。	■当日の返答どおり	
3	市立病院の経営が厳しいと聞いているが、どう考えているか。	市立病院の経営については、かねてからの懸案事項であり、多くの議員が調査し質問もしている。令和3年9月議会において市長から行政内において検討委員会を立ち上げる事が明言されており、議会においても特別委員会を12月議会において設置する予定をしている。	■当日の返答どおり ■市立病院経営改革特別委員会で対応を協議	
4	今後のワクチン接種はどうなるか。	医療従事者約400人が12月から、1月には残り1,800人、計2,200人を予定。2月には65歳以上を個別接種と集団接種にて、4月からは64歳以下の方対象に集団接種で進める計画である。2回目接種から8ヶ月を経過した方に1ヶ月前には接種券が到着する予定である。	■当日の返答どおり	
5	小学生のインフルエンザ予防接種の費用が高い。高齢者には補助があるが小学生には無いのか。	小学生への補助については課題とさせていただく。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	市道鹿高1号線の拡幅補修を以前から要望しているが、一向に進まない。関西圏との交通アクセスの整備を進めてほしい。	県道に昇格していただきバイパスを作り整備する話があったが、頓挫した。市道として局部改良の手法で対応されている。名張の西玄関口として整備が急がれる。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
7	狭くて歩行と車両の通行が困難であるとの理由から、坂之下橋の拡幅架け替え並びに市道坂之下丈六線の拡幅を要望している。大型車が通れないため土砂搬出もできない。矢川は孤立状態である。	橋梁点検の結果、大規模な補修を行う段階になく、安全性は確認されている。継続される橋梁点検結果により、老朽化対策と併せた掛け替えを検討している。市道坂之下丈六線の拡幅は、掛け替え時に検討すると聞いている。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
8	宇陀川土砂の浚渫がなかなか進まない。3年に1度は増水のため避難しなければならない事態がある。土砂が溜まって景観も悪く、イノシシの棲家になっている。議員は錦生地区と一緒に整備が進むように、申し入れ方法を検討してほしい。	市の管轄でなく国土交通省のため、木津川上流河川事務所に申し入れていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
9	上流に使われていない水門があるが、放置状態で危険だ。子どもが落ちたりしたら困るので、撤去してほしい。	室生ダム建設以前の宇陀川用水のなごりである。木津川上流河川事務所に申し入れていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
10	矢川橋下流の整備は、平成26年に要望を出している。その時で7番目とすることだったが、まだか。	宇陀川土砂の浚渫及び矢川橋下流の整備は対策の必要な箇所から優先順位を考慮して対応する旨、木津川上流河川事務所から回答いただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
11	市議会議員は県から予算を取ってきてほしい。黒田橋は国の事業だが、県や国の言うままでなく、市民の声を聞いて事業をしてほしい。	伊賀市の遊水地事業が終わり名張川河川改修に予算が付くようになってきた。事業推進を望んでいる。	■当日の返答どおり	
12	空き家が放置され、草木が茂り獣の棲家になっている。近隣の迷惑になるので活用しようとしたが、相続者不明で実現できなかった。これから、このような事例が増えると思うので、市は対策を考えてほしい。	空き家の問題は各議員が問題視している。国においても度重なる法改正は行っているが解決には至っていないのが現状である。所有者そして近隣住民双方の権利と安全性の確保、加えて利活用の推進について、それぞれを侵す事無く解決する方法を探る必要がある。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月6日(土) 18時00分～19時00分	会場	防災センター	
相手方名	中央ゆめづくり協議会	参加人数	18人	
出席議員	福田博行 吉住美智子 富田真由美 山下登 坂本直司 荊原広樹			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	「生理の貧困に関する要望書」提出について説明してほしい。	社会問題となっている問題に対応するために「生理の貧困をなくそう女性議員の会」を立ち上げ、社会福祉協議会や小中学校の養護教諭へのヒアリングなどで検討を重ね要望書提出に至った。	■ 当日の返答どおり	
2	鴻之台・中央地区として、拠点となる館(他地区同様のセンター)が地区民の願いである。現在の防災センターでは収納場所が少なく、特に子どもたちの活動に使う備品等の収納に不便さを感じている。	市の中心部に位置し、地区の日常活動にも熱心に取り組まれているのは周知のとおり。市の財政事情もあると考えるところだが、地区として請願という方法もあり、方法については後日相談に乗らせていただく。	■ 当日の返答どおり	
3	会議などで防災センターを使用する場合、緊急に市の行事などが予定されると使用出来ない不便さがある。	行事予定を出来るだけ早く知らせよう行政に伝える。	■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える	
4	「太陽光発電設備の設置に係る手続き等に関する条例」について説明してほしい。	「名張市における太陽光発電設備設置行為の規制を求める請願書」が市議会に対し提出され、直ちに議会内に「太陽光発電設備等設置に係る規則検討部会」を立ち上げ、現地調査の実施や地域住民組織、隣接住民などへのヒアリングも行い、他市の条例を参考にして市当局とも協議を重ね条例制定に至った。	■ 当日の返答どおり	
5	鴻之台・希央台の避難所は、市民情報交流センターと鴻之台3号公園になってるが、公園には照明も屋根もなく、夜間や雨天時は避難不可能であり、その意味からも安心して避難できる市民センターが必要である。	市民情報交流センター(名張駅前)が適地かどうか疑問であるとの声を行政に伝える。	■ 行政側に伝える	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月13日(土) 18時00分～19時30分	会場	蔵持市民センター	
相手方名	蔵持地区まちづくり委員会	参加人数	19人	
出席議員	福田博行 吉住美智子 富田真由美 山下登 坂本直司 荊原広樹			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	太陽光発電設備の設置に係る手続き等に関する条例については早急に周知をしてほしい。太陽光発電設置について市へ相談に伺ったところ「地元で話し合えば良い」との回答で詳細が不明であった。	市の広報やHPに条例制定の掲載はしていたが、行政に対して丁寧な対応をするよう伝える。	■行政側に伝える	
2	条例などでは地元と協議とあるが、協議だけで納得できないままのとき、区長は板挟みで大変である。	名張市として罰則規定を含む条例を制定することは上位法があるために不可能で、市に許認可権限が無いので条例を作った。	■行政側に伝える	
3	太陽光パネルの劣化など10年後を想定すれば、大きな問題となる。	議会としても環境問題のテーマとして勉強していきたいし、廃止するときには市長に届けなければならないと条文に入っている。	■当日の返答どおり	
4	名張市に未だに中学校給食がないのは残念で、いつどのような形で実現しようとしているのか、計画の詳細を聞きたい。	市の厳しい財政事情に加えてエアコンの設置やコロナ禍等により状況に変化はない。市はセンター方式としているがPFIという民間の資金やノウハウの活用、指定管理などさまざま検討している。	■当日の返答どおり	
5	議会報告会資料によると、会派によっては考え方が不明な議員もいるが、同日選挙の実施について聞きたい。	3月定例会の最終日に自主解散議案が可決されれば、市長選挙と同じ4月17日の投開票となる見込みである。	■当日の返答どおり	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	議員になり、立候補時の公約などを振り返り自己採点やできたことは何か。	各議員がそれぞれ回答した。	■当日の返答どおり	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月18日(木) 18時00分～19時30分	会場	すずらん台市民センター	
相手方名	すずらん台町づくり協議会	参加人数	10人	
出席議員	福田博行 吉住美智子 富田真由美 山下登 坂本直司 荊原広樹			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	バス通学をしている中学生に対して通学費用を無償に出来ないか、また中学校給食の進捗について説明してほしい。	通学費用については、全額ではないが遠距離通学の学費補助を出している。また、市長の公約でもある中学校給食について、市はセンター方式を考えているが議論をしているところである。実施が遅れている理由については、学校の耐震補強や空調設備、タブレットの配布を優先したことに加えコロナ禍の影響もある。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
2	公共下水道への移管の経緯と現状について、また個人負担について説明してほしい。いつまでにどうするという下水道の計画を早く説明してほしい。	遅れているものの、国の公共移管という方針に沿って進めている。公共下水道は整備中であるが、住民合意に時間がかかるため計画に対して遅れている。また、各戸の負担については地域によって異なるが、公共移管を終えたところでは6～7万円であったと思う。早く説明するよう行政に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
3	生理用品は、保健室でなくトイレに設置してほしい。また、コロナ禍により種々の理由で学校に行けない子どもを自宅学習することで出席扱いにしてほしい。	今は保健室で渡すが今までのように返さなくていいこととし、最終的にはトイレへの設置を目指している。止むを得ず学校に行けない子どもについて、厚労省は出席扱いこと通知しているが、判断は学校長にゆだねられている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
4	耐震補強が終わった学校は照明がLED化されているが、そうでないところは学校の修繕費で蛍光灯の取替えが必要になっている。学校の予算は不足しているので、設備修理にかかる費用負担については配慮してほしい。	新しい学校ほど耐震基準を満たしていたために補強不要で、LED化されていないことのようにある。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
5	住みよい住宅地構築のため、計画的な植樹を含めて街路樹はどのような管理計画になっているか。	市が定期的に剪定しているが、伸びすぎた枝などあれば区長、自治会長を通じて市に剪定を依頼してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり 	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	車道にゴミが溜まる。風の影響もあり個人がゴミを拾い、個人の負担で市のゴミ袋を使用しているが、市が責任をもってゴミ袋の手配、回収はできないか。	無料の袋(グリーンボランティア袋)もあり団体で取組み日など連絡すれば対応してもらえる。ボランティア袋を指定のゴミステーションに置いてもらえば回収できるが、指定場所でない路上に置いてもらったものを行政が回収するのは難しい。	■当日の返答どおり	
7	固定資産税は高いし、都市振興税延長の時もゴミの分別方法変更の時ももっと住民の声を聞いてほしかった。	都市振興税として5年前に固定資産税が増額されたが、その時には行政が説明会を行っていたし、議会も特別委員会を作り、各地域を回り住民の意見を聴かせてもらった。今回の延長に際しても市が3箇所での説明会を行った。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
8	無ければ困るので、市立病院の充実を求める。	市立病院については、検討委員会を立ち上げ、どうすれば市民の命を守るのかをしっかりと議論していきたい。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える ■市立病院経営改革特別委員会で対応協議	
9	桔梗が丘駅のトイレは和式だけなので、洋式に改修してほしい。	桔梗が丘駅のトイレ洋式化については、議会が近鉄と交渉することはできないが、行政に交渉してもらうことはできる。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	
10	市長と議員の選挙は同日であれば経費の節約にもなる。	令和4年の3月議会で自主解散議案が可決されれば可能である。	■当日の返答どおり	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月27日(土) 10時00分～11時30分	会場	百合が丘市民センター	
相手方名	一般社団法人青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会	参加人数	22人	
出席議員	福田博行 吉住美智子 富田真由美 山下登 坂本直司 荊原広樹			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	学校に於いてサーバーの容量が足りないことにより、多人数での同時学習が出来ないためwifi接続の改善を要する。	wifiの整備については今後ともしっかり要望していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
2	学校のトイレの改善(洋式化と自動水栓)は急がれる。一括が無理ならば計画上順次改修など不可能か。	学校のトイレ洋式化と手洗いの自動水栓への取替えについては順次進めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
3	名張は防災意識が低いと思う。防災訓練でも安否確認が難しい状況なので、市民の意識向上が必要。	市民に災害発生前の準備の意識を高めてもらおうと議会から防災について市に提言した。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
4	観光面で赤目滝の駐車料金が高く、不評である。竹灯りイベントでは囲いが無い危険個所があり、改善すべきではないか。	観光協会などが頑張っているが、目に見えにくい。議員としてもPRが必要と感じている。竹灯りイベントではカップルの来訪が増えているがもっと進めていきたい。危険個所の改善が必要なことは行政に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
5	名張市を元気にする施策が見えない。	子どもたちにふるさとを知ってもらうためふるさと学習を取り入れている。赤目でも年間15万人しか観光客が訪れないので、もっと人流を増やして稼ぐということが必要と思う。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり 	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	地域づくり組織の法人化は進んでいるか。再度予算なども含めて検証すべきと考えるが、もっと市民の声を聞いてほしい。	組織の継続と若い人の参加を促すためにも法人化は重要ではないか。行政の所管部署に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
7	ホッケーのまちづくりの推進をするというが、市としてはどのような認識か。市外からの来訪者が分りやすいようにホッケー場の案内板を設置してほしい。	地区の財産でもあるので、地域で活用について深く議論してほしい。案内板設置については、行政に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	令和4年度予算で市民ホッケー場案内表示看板の設置を予定している。
8	市立病院の経営改革の状況を聞かせてほしい。ベッド数の確保は必要。	12月議会で議会も行政も委員会を立ち上げるところである。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■市立病院経営改革特別委員会で対応協議 	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月27日(土) 13時30分～15時30分	会場	桔梗が丘市民センター	
相手方名	桔梗が丘自治連合協議会	参加人数	26人	
出席議員	福田博行 吉住美智子 富田真由美 山下登 坂本直司 荊原広樹			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	市長と議員の同日選挙実施は決定か。	自主解散議案が可決されれば、市長選挙と同じ4/10告示4/17投開票となる見通しである。	■ 当日の返答どおり	
2	防災訓練で防災倉庫を点検したが、防災シートを含め不足している。また発電機などの燃料(ガソリン)の備蓄なども含め不安要素多数だ。担当部に確認しても明瞭な回答はない。	防災関係は担当部署に伝える。	■ 行政側に伝える	
3	地域のまちづくり委員会や協議会にある地域事情をどのように把握しているか。議会の委員会などで議論を深めては。	議会報告会でお聞きするだけでなく各班の内容を精査し議会として活かしていく。	■ 当日の返答どおり	
4	コロナに関しては集団接種の予約が取れないなど、高齢者への対応なども含め手助けをお願いしたいが。	2回目から8か月経過の方から順次3回目のワクチン接種の計画となっていて、ワクチン接種の予約など、まちの保健室の手助けをお願いするなども必要と考える。	■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える	
5	GIGAスクールは大切と考えるが今後の方向はどのようになっているか。タブレットの利用に困っている子どもたちがいるのではないか。また先生も過重な業務を抱えて困っているのではないか。	市内小中学校を視察して現状を把握したところ、タブレット利用などについて学校でも工夫しているが、学校による差があることも事実である。タブレットの指導に加えてコロナのために消毒など先生の負担が非常に増えている。今後もしっかりと状況を見守っていききたい。	■ 当日の返答どおり	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	病院の経営改革についての状況はどうなっているか。	令和3年12月議会に市・議会ともに委員会の立ち上げを上程する。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■市立病院経営改革特別委員会で対応協議 	
7	議員の視察については①目的地の決め方は②視察後のレポート提出は③視察をどの様に活用、活かしているか。	視察については目的地の決め方もレポート提出も手順等規則通り行っている。視察後の活用例としては、子ども条例の制定や子ども食堂、ペーパーレス化などがある。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり 	
8	固定資産税増税、また延長は市民の声を聞いて判断したか。議員が勝手に賛成したのではないか。増税止む無しというが、よく交付税云々、特例債云々をいう。だから、どのようにして行くとかの考えが全くない、無策である。議員としてそれで良いか。	都市振興税導入の際には、議会も特別委員会を作り、関連団体などを回り意見を聴かせてもらった上で行政側と議論した。延長については、政策調査部会で少しでも下げられないか検討し、市民への説明も要請したが、増税でなく、継続ということで行政は説明を後としたと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり 	
9	まちづくり協議会などへの負担が増している。また民間委託という言葉が多いが、もっとまちづくりの声、市民の声を聞いてほしい。	行政に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■行政側に伝える 	
10	2番町の歩道に痛みがあり改善してほしい。	行政に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■行政側に伝える 	

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
11	<p>《意見》 20年来、財政非常事態宣言を出し、全く改善されない。好転させるためにどうするかを示すべきだ。 議員報酬下げは急務であり、市長に聞いても報酬審議会をやらないというが、市民の負託を受けた議員にはもっと工夫をお願いします。</p>	<p>行政に伝える。</p>	<p>■行政側に伝える</p>	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月13日(土)19時00分～20時30分	会場	赤目市民センター	
相手方名	赤目まちづくり委員会	参加人数	18人	
出席議員	永岡禎 森脇和徳 森岡秀之 阪本忠幸 足立淑絵 木平秀喜			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	赤目町檀の池の草刈りをするが草の処理をどうしたら良いのか、行政側と消防で見解が違うため指導してほしい。	行政の各部署へ見解の確認をする。他の地域では畑で腐らせ肥料としての利用している事例がある。	■行政側に伝える	法律上、野焼きは禁止されているが、農作業にかかるものやどんど焼き等は条件を付した上で焼却が可能となる例外規定がある。今回の池の保全のための刈草の処分については、できる限り再生利用していただきたい。
2	学校休校の時は、放課後児童クラブが受け皿となり人数制限いっぱいの人に来るのでソーシャルディスタンスが取れてないまま児童を受け入れている。放課後児童クラブで働いてくれる人が少ないので対策してほしい。	名張市はできる限り学校を開放し利用してもらえようとしている。放課後児童クラブに対してコロナ関連の予算化もされている。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	子育て支援員研修放課後児童コースの受講を呼びかけ、クラブ従事者の確保に努めている。学校の余裕教室等の施設利用が必要な場合は、各学校長に相談いただきたい。
3	現在、赤目地区の防災ヘリ基地は錦生赤目小学校が指定されているが、避難場所であり災害時の対応が難しいと考える。代替地として新たに提供できる場所があるので利用してほしい。	消防本部と危機管理室へ提案する。	■行政側に伝える	市に代替地の提案をしていただければ、県とともに調査確認し、許可を得た後、登録することになる。
4	訓練の呼びかけをするが、毎回人数が減っていく。参加者が増える方法があるのか。	他の地域を参考にすることや、参加者への意識付けが必要と考える。	■当日の返答どおり	
5	小学校の横に家がある。砂埃が多いので困っている。	水を撒ける水栓があるのか教育委員会へ確認する。	■行政側に伝える	運動場に十分な散水ができる設備は備わっていないのが現状である。

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	赤目丈六の入り口、県道と市道の交差点にあるガソリンスタンドの横が暗い。電灯をつけてほしい。	担当部署へ伝える。	■行政側に伝える	市が設置する街路灯は、バス路線等の交通量の多い幹線道路を基本とし、歩道付き道路の主要交差点付近を中心に設置するものとしている。また、街路灯以外に歩行者等の安全及び防犯被害の未然防止を図るための防犯灯があり、地域で設置されている。
7	防災訓練にて避難人数が何人ならよいか。	人数の定義はない。	■当日の返答どおり	
8	市立病院の方向性はどうなるのか。	市は、市立病院あり方検討委員会を、議会は、特別委員会を立ち上げ協議していく。	■当日の返答どおり ■市立病院経営改革特別委員会で対応を協議	
9	有事の際の個人情報はどう把握するか。	個々の情報を地域で収集、管理し、有事の際に活用している地域もある。	■当日の返答どおり	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月21日(日)13時30分～15時00分	会場	つつじが丘市民センター	
相手方名	つつじが丘・春日丘自治協議会	参加人数	29人	
出席議員	永岡禎 森脇和徳 森岡秀之 阪本忠幸 木平秀喜			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	財政再建の見通しはどうか。	市立病院の赤字が再建の道を阻む。160億円の建設費用は令和9年には終わるが、現在、年10～15億円の支出が負担となっている。市立病院の経営改革を中心に行政改革を進めていく。	■ 当日の返答どおり	
2	市役所職員数が少ないために地域ボランティアの負担が多い。もっと職員を増やせないのか。	名張市は財政難のため人口1万人あたりの職員数が41.5名だ。伊賀市は人口1万人あたり71名である。ご理解いただきたい。	■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える	
3	財政非常事態宣言が20年間解決されないのは長すぎる。解決策はないのか。市民投資家を募り事業展開をしてはどうか。	財政非常事態宣言の解除は市長の判断による。現在も改革を進めている。	■ 当日の返答どおり	
4	コミュニティーバスの運行が少ない。車がないのでどうしたら良いか。	今後更に地域コミュニティーバスの在り方を考えていかなければならない。	■ 行政側に伝える	公共交通のみならず、様々な移動手段(福祉バス、移動支援、スクールバスなど)を活用した交通体系の検討がされている。有償ボランティアによる支え合い事業などへの支援も進められている。
5	所有者不明の土地が沢山ある。所有者不明な土地はどれだけあるのか。	担当部署に伝える。	■ 行政側に伝える	納税通知書の返戻数(令和3年度158件)は、年々増加している。また、空き地の管理指導(通知)文書の追跡調査で住所が判明出来なかった件数も年数件ある。今後の課題として、課税対象外も含む土地の所有者の把握が必要と考える。

	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
6	小学校のトイレを100%洋式にしてほしい。	小中学校の洋式化を進めている。	■当日の返答どおり	
7	空き家が多い。何度も市に迷惑な家であることを伝えるが動いてくれない。	市としては助言・指導・勧告・行政代執行という順番に行っている。	■当日の返答どおり ■行政側に伝える	

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月27日(土)13時30分～15時00分	会場	名張市民センター	
相手方名	名張地区まちづくり推進協議会	参加人数	21人	
出席議員	永岡禎 森脇和徳 森岡秀之 阪本忠幸 足立淑絵 木平秀喜			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	公立幼稚園及び公立保育所が統合され、また保育園がなくなれば、ますます少子化になるのではないか。	教育ニーズにも合わせられるよう適正化を求めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
2	公立から民間になると子供たちのためになるのか。もう一度公立幼稚園に戻してほしい。決定が早すぎる。もっと説明会を早い段階でしてほしいかった。	唐突な行政からの説明には議会側も苦言を呈した。引き続き保護者への理解を得れるよう市に求めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	
3	旧町が寂れている。旧老人福祉センター跡地に歴史資料館、乱歩コーナーの移設は考えられないのか。	現状では困難である。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当日の返答どおり ■ 行政側に伝える 	当建物については、老朽化が著しく、耐震基準を満たしていないため、使用できない状態である。また、このエリアは三重県指定史跡「名張藤堂家邸跡」に指定されていることから、ふさわしい活用について今も検討されている。

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年11月27日(土)16時00分～17時30分	会場	くにつふるさと館	
相手方名	国津地区地域づくり委員会	参加人数	18人	
出席議員	永岡禎 森脇和徳 森岡秀之 阪本忠幸 足立淑絵 木平秀喜			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	耕作放棄地の解消について ・元に戻すのか ・低木の植林をするのか ・道路の周辺だけをよくなるのか	農業委員会等でも話し合っていた。	<ul style="list-style-type: none"> ■行政側に伝える ■産業建設委員会で対応を協議 	市は、定期的に地域と話し合いの場を設けると回答があり、地域でも話し合っていた。また、産業建設委員会でも協議をしていく。
2	山村振興法対象地区のメリットについて	山村振興法は、地区でまとめた計画を出さないと補助金はもらえない。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	
3	くにつふるさと館の駐車場問題について	以前から増設の依頼を受けており、理解している。引き続き要望していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	検討すること。
4	民生委員のなり手がいない。国津単独でできないか。	民生委員のなり手不足は喫緊の課題であり全市的な問題である。行政へ伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■当日の返答どおり ■行政側に伝える 	国津地区単独で地区民生児童委員協議会を運営する場合、地区会長及び主任児童委員2名の選出が必要になるなど、現在よりも負担が増えることも想定されるため、地域で検討いただきたい。
5	地域づくりの予算が少ない。人口割りではなく面積割りでの予算が出ないか。	現在均等割り導入しているが、その問題点は十分に理解しているので行政に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ■行政側に伝える 	人口の少ない地域については、地域調整額で調整している。詳細については、市のホームページ「ゆめづくり地域予算制度(令和3年度版)」に掲載している。

議会報告会で聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和3年12月18日(土)10時00分～11時30分	会場	美旗市民センター	
相手方名	地縁法人 美旗まちづくり協議会	参加人数	16人	
出席議員	永岡禎 森脇和徳 森岡秀之 阪本忠幸 足立淑絵 木平秀喜			
	質問・意見	懇談会等での返答	進め方	対応結果等
1	新型コロナウイルスワクチンの2回目の接種は、どれくらい終了しているのか。又、3回目はいつから接種するのか。	2回目の接種率は約80%である。 3回目は、医療従事者から始めている。後に2回目接種終了から8か月を過ぎた高齢者から順次接種する予定である。	■当日の返答どおり	
2	通学路で危険な場所がある。現在はゴムのボールが立っているだけだ。交通量が多いため信号待ちの子供への安全対策をしてほしい。	新田交差点の点滅信号のある場所については、行政側も把握している。県道である為、県とも協議を進めていく。	■行政側に伝える ■教育民生委員会で対応を協議	当該交差点の安全対策について、市は、道路管理者である三重県に依頼すると回答があった。
3	市道新田南古山線の歩道整備は30年来、改善をお願いしてきた。通学路でもあり、進捗を教えてください。	地権者と協議が出来次第、工事に入る予定で、途中の箇所においては、地権者との話し合いが進み次第、行政から報告する。	■行政側に伝える ■教育民生委員会で対応を協議	
4	毎日、美旗中2番町、3番町の子供達100人以上が通学している。市道も歩道もかなり傷んでいるので整備を求めます。	早期に改善できるよう求めていく。	■行政側に伝える ■教育民生委員会で対応を協議	通学路で危険な区間がある際は、道路管理者に情報をいただきたい。
5	子供たちの車で送迎が増えている。安全対策のため通行規制ができないのか。	学校側と協議しながら対策を検討するよう求める。	■行政側に伝える ■教育民生委員会で対応を協議	保護者と学校の連携により、保護者送迎が安全に行えるようなルールづくりについて、検討するよう求めた。